

## 7 目的別主要事業概要

### 1 議会費

議会においては、町の政策立案、行財政運営の監視など、その権限・役割を認識し住民の負託に応えるため、先進事例の調査を行うとともに、兵庫県町議会議長会主催の研修会への参加及び住民ニーズの的確な把握に努め、本会議、委員会等の審議を通じて執行機関に対するチェック、提言などを行いました。

提出された請願5件、陳情・要望等9件については、いずれも委員会に付託し慎重な審議を行った結果、国等に対して3件の意見書を提出しました。

また、バララット市との姉妹都市提携20周年記念式典に3名の議員を派遣しました。

主な活動内容については、次のとおりです。

#### (1) 本会議の開催状況（平成20年4月～平成21年3月）

回数	回次等		会期日数	会議日数	一般質問者	傍聴者数
1	340定例会	6/9～6/20	12	3	10	32
2	341定例会	9/9～9/19	11	3	9	18
3	342定例会	12/5～12/16	12	3	5	8
4	343定例会	2/25～3/26	30	4	4	31
合 計			65	13	28	89

#### (2) 常任委員会の活動状況（平成20年4月～平成21年3月）

会議名		開会中	閉会中	計
常任委員会	総務建設	7回	3回	10回
	生活文教	7回	4回	11回
委員協議会	総務建設	2回	3回	5回
	生活文教	1回	5回	6回
各常任委員会の 行政視察	総務建設	H21. 1. 29～30 ・ 熊本県氷川町 ・ 熊本県菊陽町		
	生活文教	H20. 11. 17～18 ・ 埼玉県所沢市 ・ 埼玉県さいたま市		

※行政視察は回数に含まない。

(3) 特別委員会・その他の委員会等の活動状況（平成20年4月～平成21年3月）

特別委員会	議会広報特別委員会 <<16回>> (行政視察) H20. 11. 13～14 ・宮城県大郷町 ・宮城県七ヶ浜町
	新名神高速道路対策特別委員会 (行政視察) H20. 5. 15 ・滋賀県甲賀市
その他の委員会等	議会運営委員会 <<10回>> (行政視察) H20. 10. 2～3 ・山形県庄内町
	全員協議会 <<2回>>

※行政視察は回数に含まない。

(4) 議案付議件数と審議結果（平成20年4月～平成21年3月）

回次等	付議件数				審議結果等（左の内訳）											
	町長提出議案	議員提出議案	請願	計	可決	修正可決	決議	否決	同意	認定	承認	議決不要	採択	不採択	その他	計
340定例会	12	1	2	15	6				4		3		1		1	15
341定例会	23	4	2	29	18				1	1			1	1		22
342定例会	17			17	15				2	7						24
343定例会	34	1	1	36	34				1					1		36
計	86	6	5	97	73				8	8	3		2	2	1	97

※町長提出議案には報告案件は含まない。議員提出議案には意見書案、決議案を含む。

(5) その他

ア 議会だよりの発行状況

年4回（定例会毎に）発行、印刷部数10,550部

第127号（H20.4.30発行）、第128号（H20.7.25発行）

第129号（H20.10.29発行）、第130号（H21.2.5発行）

## イ 研修会参加状況

研修名	開催場所	開催月日	出席者
議長研究会	神戸市	7/9～10	議長
議会運営委員研修会	神戸市	8/12	議員5名
市町正副議長研修会	神戸市	10/20	正副議長
議員研究会	神戸市	11/20	議員13名
議会広報研究会	神戸市	11/28	議員5名

## 2 総務費

### (1) 総務管理費

職員研修事務費では、多様化する住民ニーズや行政を取り巻く環境変化に対応できる人材を育成するため、昨年度に引き続き基本研修、特別研修、派遣研修、職場研修、人権同和研修、メンタルヘルス研修、人事評価者研修等を実施するとともに、バララット市への海外派遣研修を実施しました。

交通安全啓発については、全国交通安全運動等にあわせて町交通安全推進協議会とともに年4回の街頭啓発や電光掲示板の活用などにより随時啓発を行いました。

一方、子どもや高齢者などの交通弱者が事故に遭う確率が高いことから、幼児を対象とした交通安全教室（うさちゃんクラブ）の開催や保育所、幼稚園、小学校、子育てグループにおける交通安全指導を行うとともに、川西警察署・川西交通安全協会の協力を得て、老人大学における高齢者交通安全教室の開催や大陽猪名川自動車学校で「シルバー安全運転講習会」を実施しました。また、大島小学校で開催された地域防災訓練に併せて交通安全啓発を実施しました。併せてチャイルドシート129基分の購入費助成を行いました。

防災対策費として、新たに大島小学校に防災備蓄倉庫を設けました。防災訓練については、平成16年度から小学校区単位で実施しており、平成20年度は大島小学校において自主防災組織を中心とした合同防災訓練を実施しました。

防犯対策費については、空き巣や車上ねらいなどの犯罪の未然防止、子どもたちの安全確保や住民の防犯意識の向上のため、青色回転灯を設置した公用車で職員による早朝及び勤務における事務連絡時のパトロールを実施しました。また、暗がり改善し、犯罪を起しにくい環境づくりに向けて、防犯灯141灯を新設するとともに、県道を中心に防犯

灯の効果が低下しているものについて、移設を行うなど適正な管理に努めました。

コミュニティ推進事業費では、財政的な支援に加え地域担当職員がコーディネーター役となって、自治会を核として地域の各種団体やサークル等の横断的な連携・情報交換を図るため、その協議の場となる「地域まちづくり協議会」が平成21年1月末に7小学校区全てにおいて立ち上げられ、住民の参画と協働による安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティの推進母体を形成することができました。

生きがづくりでは、団塊世代の一斉退職に併せて、遊休農地の有効活用や森林資源を活用するため、シニアファーマー養成講座として、前期には野菜づくり、後期には、きのこ栽培講座を実施しました。また、生きがづくりのきっかけとなるよう、ふれあいうどん指導者養成講座や講演会を開催しました。

環境管理システム事業費では、行政が地球・地域環境問題の改善に向け環境負荷の低減や保全活動を率先して推進するため、平成14年に認証取得したISO14001（国際標準化機構）に基づく継続的な取り組みを進めるとともに出先機関も含めて、省資源、省エネルギーの取り組みを進めました。

広報広聴費では、広報いながわ及び広報ビデオ「ふるふる！いながわ」を制作し、町内のできごと、風景、行政の動きなどを紹介するとともに、町のホームページの更新を随時行いました。

法律・行政相談では、それぞれ月1回開催し計74件の相談を受けました。

企画費では、「清流猪名川を取り戻そう町民運動」の住民活動の定着を図るため「清流猪名川を取り戻そう町民運動実行委員会」を中心に、その活動を引き続き支援、推進しました。また、同実行委員会では、清流猪名川を取り戻そう町民運動を多くの人に知ってもらうためのマスコットキャラクター「いなぼう」を制作し、町内外の各種イベントに参加しPR活動に努めました。

さらに、引き続き雨水貯留タンクの設置助成を実施するとともに、住民ボランティア等による河川愛護活動を支援するため清掃用具の貸し出しを行いました。

国際交流事業費では、姉妹都市提携20周年を記念して、平成20年8月1日にバララット市において開催された記念式典に、公式訪問団7名と町国際交流協会が募集した一般訪問団24名の総勢31名の親善訪問団が臨席しました。式典では、より一層の姉妹都市関係の推進を図ることを確認しました。

町内公共施設循環バス事業では、公共施設を利用しやすく、また高齢者等で車を運転し

ない人の移動手段の確保を目的に、引き続きバス2台で4コースを各コース週3日ずつ運行しました。また、町内在住の70歳以上の人と身体・知的・精神障害者の手帳所持者には、引き続き無料でふれあいバスを利用できるよう、利便性の向上と利用者拡大に努めました。

また、本町の望ましい将来像の実現に向けた、今後10年間の目指すべきまちづくりの指針となる第5次猪名川町総合計画の策定に向け、住民の参画と協働のもと取り組みを行いました。

公平委員会費では、本年度も不服申し立てや措置要求はなかったものの、県や阪神間の研究会等に参加し、研さんを積みました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
職員研修費	兵庫県自治協会 19名	3,398	その他財源 489 一般財源 2,909
	兵庫県自治研修所 11名		
	阪神広域行政圏協議会 28名		
	OA関係研修 41名		
	町村会研修 6名		
	その他研修 593名		
交通安全対策費	交通安全啓発電柱幕 17枚	7,932	その他財源 1,117 一般財源 6,815
	交通安全啓発看板 5枚		
	幼児交通安全指導 85回		
	交通安全啓発事業 年4回		
	チャイルドシート購入助成 129基		
駐輪場・駐車場 運営管理費	駐輪場管理 2箇所	20,904	その他財源 15,261 一般財源 5,643
	駐車場管理 1箇所		
広報事業費	広報の発行(年24回) 6,025,062円	12,016	その他財源 870 一般財源 11,146
	広報板修理(6件) 119,500円		
広聴事業費	法律・行政相談の開催(月1回)74件 子ども議会開催	576	一般財源
広報メディア拡大費	広報ビデオ作成・放映	7,709	その他財源 844
			一般財源 6,865
防犯対策費	防犯灯新設 141灯	34,772	国庫支出金 8,000
	防犯灯移設 38灯		一般財源 26,772

環境管理システム事業費	環境マネジメント定期審査業務手数料 630,950円 職員運用研修委託料 156,000円	964	一般財源
水環境保全整備費	雨水貯留施設設置助成金（15基） 414,822円 清流猪名川を取り戻そう町民運動実行委員会補助金 1,300,000円	1,715	国庫支出金 17 一般財源 1,698
いながわまつり開催費	いながわまつり実行委員会への補助金（第41回いながわまつり）	6,750	一般財源
団塊の世代生きがづくり事業	シニアファーマー 養成講座 （前期野菜栽培）参加者37名 （後期きのこ栽培）参加者7名 ふれあいうどん指導者養成講座 参加者10名 講演会 11月22日（土）生涯学習センターで開催 参加者150名	2,240	その他財源 452 一般財源 1,788
コミュニティ推進事業費	地域コミュニティ活動支援事業補助金 490,000円 一般コミュニティ助成（伏見台自治会・広根自治会） 3,000,000円	4,823	その他財源 3,000 一般財源 1,823
国際交流事業費	国際交流協会補助金 1,000,000円 姉妹都市提携20周年記念事業 1,669,000円	4,169	一般財源
町内循環バス運行事業	運行委託料 22,377,313円	22,550	県支出金 1,218 一般財源 21,332
総合計画策定事業	審議会委員報酬 792,000円 基礎調査委託料 4,734,000円	5,561	一般財源
電子計算管理事務費	電算処理委託料 4,648,660円 OA研修委託料 159,600円	66,371	一般財源

## （2）徴税費

公平で公正な課税に努めるとともに、平成21年度の固定資産税の評価替に向けての事務に取り組みました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
税務総務事務費	電算保守委託費 28,117,282円	84,242 (160,973)	県支出金 64,154
	地番・家屋図修正事務委託費		その他財源 2,089
	5,299,000円		一般財源 17,999
	用地鑑定委託費 1,430,310円		

### (3) 戸籍住民基本台帳費

住民票、印鑑証明、税務証明などの各種証明については、平成19年から住民サービスの向上と事務の効率化を目指し、発行窓口を一本化して取り組んでいます。

戸籍及び住民基本台帳事務については、引き続き住民の異動届出等の本人確認をするなど住民の個人情報の保護に努めました。

平成20年度中における出生・婚姻等の戸籍届出件数は1,281件、各証明書等の発行件数は39,489件となっています。

人口については、平成21年3月末の総人口は32,581人で、昨年度より336人の増となっています。

### (4) 選挙費

平成20年度中に執行された選挙はありませんでした。

### (5) 監査委員費

町の財務に関する事務の執行、経営に係る事業及び町の事務等について監査を行いました。監査の活動状況は、次のとおりです。

財務事務の執行についての監査	6回(年間)
出納検査	12回(年間)
決算審査	8日間(H20.7.9～8.21)

### (6) 統計調査費

住宅・土地統計調査(平成20年10月1日基準日)、工業統計調査(平成20年12月31日基準日)及び平成21年度実施予定の経済センサス基礎調査を実施しました。

### 3 民生費

老人福祉費においては、昨年度に引き続き、町内各老人クラブ活動などを支援するとともに、在宅における高齢者に対し町社会福祉協議会と連携を図りながら、介護予防事業を実施しました。

障害福祉費においては、平成20年6月に猪名川園（社会福祉法人ユウカリ福祉会）保護者会が知的障害者生活訓練ホーム「こもれび」の運営を開始されたことから、その運営補助を行いました。また、障害のある人やその家族、また事業所に対し就労に係る相談や支援を行うため、平成20年10月に町障害者就労支援センターを開設しました

介護保険関係では、介護保険特別会計へ保険給付費の12.5パーセント相当分や、地域支援事業への負担分、さらにはシステム改修事業の補助金などを差し引いた事務費を合わせた196,745千円を繰り出しました。

人権平和事業では、人権施策推進の基礎資料とするため「人権についての意識調査」を実施し、調査結果報告書を作成しました。また、「人権教育のための国連10年」猪名川町行動計画に基づいて、差別解消、人権意識の高揚に努め、人権教育セミナーをはじめ人権を考える町民のつどい等の人権啓発事業を推進しました。また、平和事業として戦没者追悼式や平和バスの運行を実施しました。

児童福祉においては、子育て支援制度を充実するため、新たに一時保育事業利用料助成を行ったほか、認可保育所に入所できない人に助成している認可外保育所等保育料助成金の限度額を引き上げました。

また、乳幼児等医療費助成制度を拡充し、通院は、小学校就学前まで、入院については、小学校在学中までの医療費を無料としました。

主な事業内容については、次のとおりです。

#### (1) 社会福祉関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
民生児童委員費	民生委員・児童委員活動費 地域福祉活動推進のための民生委員児童委員協議会に対する助成等	6,182	県支出金 3,556 一般財源 2,626
社会福祉協議会費	社会福祉協議会助成	63,017	一般財源
住宅改造助成事業	助成件数 11件	2,447	県支出金 653 一般財源 1,794



各福祉団体への補助金等	身体障害者福祉会	150,000円	498	一般財源
	手をつなぐ育成会	80,000円		
	川西保護区保護司会	70,000円		
	猪名川町遺族会	130,000円		
	猪名川町傷痍軍人会	30,000円		
	川西・猪名川原爆被害者の会	20,000円		
	県遺徳顕彰会負担金	18,000円		

(2) 介護保険関連事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳	
介護保険対策費	介護保険特別会計繰出金	196,745	一般財源	
	保険給付費分			157,922,000円
	地域支援事業分			6,562,000円
	事務費分			32,261,000円

(3) 老人福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳	
老人クラブ活動等社会活動促進事業	老人クラブ活動費補助	3,951,000円	5,223	県支出金 2,417 一般財源 2,806
	クラブ数	42クラブ		
	会員数	2,151名		
	老人大学活動費補助	200,000円		
	老人クラブ連合会補助	1,072,000円		
敬老会事業	9月8日実施 対象者 3,826名、参加者 600名 高齢者表彰 (88歳=85名、99歳=4名、100歳以上=5名、)	7,709	一般財源	
	敬老祝金	9月1日現在、満77歳、88歳及び100歳以上で、引き続き1年以上住所を有している人	3,894	一般財源
満77歳		10,000円×206名		
満88歳		20,000円×81名		
満100歳以上		30,000円×5名		
在宅介護支援センター事業	実態把握	101人	2,000	一般財源
	介護予防教室	3回		
	相談実績	243人		
老人保護措置事業	老人ホームへの入所措置	1,960	その他財源 155 一般財源 1,805	
	3月末現在入所者数			
	養護老人ホーム			1名

シルバー人材センター事業	会員登録者数 男215名 女 64名	12,273	一般財源
老人医療助成制度	満65歳～69歳の人 受給者数 531名 受診件数 10,631件 対象人口 1,978名 一人当たり医療費 34,415円	21,473	県支出金 10,753 一般財源 10,720
介護予防・地域支え合い事業	高齢者生きがい活動支援事業 延べ利用者数 1,184名	3,135	一般財源
緊急通報システム運営事業	緊急通報システム設置台数 3月末現在設置台数 88台	1,507	一般財源

(4) 心身障害者（児）福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
心身障害者（児）福祉金	給付人数 身体障害者（児）福祉金 1・2級 357名 8,032,500円 3級 148名 1,184,000円 4～6級 329名 1,316,000円 知的障害者（児）福祉金 A判定 48名 1,080,000円 B1判定 21名 168,000円 B2判定 25名 100,000円 精神障害者福祉金 1級 18名 405,000円 2級 35名 280,000円 3級 6名 24,000円	12,590	一般財源
身体障害者（児）援護措置事業	補装具給付事業 障害児 交付 15件 修理 4件 障害者 交付 16件 修理 11件 更生医療の給付 延12件 更生訓練費給付 延12名	3,921	国庫支出金 2,404 県支出金 1,219 一般財源 298
心身障害者（児）医療費助成制度	満65歳までの人で、身体障害者手帳1級・2級の交付を受けている人、療育手帳A判定の人又は精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている人 受給者数 190名 受診件数 3,831件 一人当たり医療費 122,360円	24,346	県支出金 9,955 一般財源 14,391

地域生活支援事業	相談支援件数 延1,597件 福祉機器リサイクル件数 延108件 障害者地域活動支援センター事業 延利用者数1,061名 スポーツレクリエーション事業 点字・声の広報作成事業	36,497	国庫支出金 4,044 県支出金 3,722 その他財源 628 一般財源 28,103
日常生活用具給付事業	給付件数 延321件	3,170	国庫支出金 1,308 県支出金 654 一般財源 1,208
居宅生活支援給付事業	移動支援事業利用者数 延185名 日中一時支援利用者数 延254名	5,440	国庫支出金 2,245 県支出金 1,122 一般財源 2,073
知的障害者自立生活訓練事業	訓練日数 延1,184日	1,874	国庫支出金 682 県支出金 451 一般財源 741
心身障害者（児）支援事業	居宅介護サービス 延95名 生活介護サービス 延68名 施設入所支援サービス 延68名 旧法入所支援サービス 延140名 通勤寮 延12名 短期入所サービス 延51名 旧法身体通所サービス 延12名 旧法知的通所サービス 延184名 就労継続支援B事業 延25名 就労移行支援事業 延2名 共同生活援助事業 延12名 児童デイサービス 延94名	105,828	国庫支出金 53,250 県支出金 26,248 一般財源 26,330
障害程度区分認定事務	調査実施者数 31名 審査会判定件数 16件 審査会開催回数 3回	457	国庫支出金 291 一般財源 166
小規模通所授産事業	小規模通所授産施設運営委託料 23,352,538円 通所者数 17名	23,353	県支出金 7,500 その他財源 628 一般財源 15,225

(5) 社会福祉施設関係

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
総合福祉センター管理事業	総合福祉センター管理委託料	76,318	その他財源 5,335 一般財源 70,983
社会福祉会館管理事業	社会福祉会館管理委託料	12,669	その他財源 703 一般財源 11,966

## (6) 人権平和等推進事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
人権平和事業	人権啓発事業 人権教育セミナー 延べ 10回 参加者数 606名 人権を考える町民のつどい等 8、12月開催、参加者数 817名 戦没者追悼式 (6月4日、382柱) 平和バス (8月5、6日、25名参加) 人権についての意識調査を実施	5,456	県支出金 1,702 その他財源 135 一般財源 3,619
男女共同参画事業	男女共同参画事業の推進 講演会・学習会の開催等	215	一般財源
隣保館運営費	隣保館事業 書道・三味線・生け花・パソコン教室 延べ102回、参加者数 509名	1,030	一般財源

## (7) 児童・母子福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
母子福祉金	給付世帯数 160世帯	1,544	一般財源
訓練施設通園事業	心身障害児療育訓練事業 9名	11,657	一般財源
乳幼児等医療費助成制度	生まれてから小学3年生までの乳幼児 受給者数 3,299名 受診件数 42,692件 対象人口 3,372名 一人当たり医療費 18,692円 小学校4～6年生 (入院のみ) 対象者数 1,034名 支払件数 4件 支払金額 245,157円	71,164	県支出金 18,140 一般財源 53,024
母子家庭等医療費助成制度	18歳に達する日以降の最初の3月31日 までの間にある児童を養育している母 又は父とその児童及び遺児 受給者数 336名 受診件数 3,390件 対象人口 370名 一人当たり医療費 23,009円	8,812	県支出金 2,851 一般財源 5,961

児童手当支給事業	家庭生活の安定と次代を担う児童の健全育成・資質の向上を図ることを目的として小学校修了前の児童を養育している人に支給 延べ児童数 被用者 6,825名 特例給付 352名 非被用者 1,587名 小学校修了前特例給付被用者 23,572名 小学校修了前特例給付非被用者 6,227名	255,069	国庫支出金 117,457 県支出金 66,938 一般財源 70,674
子育て支援事業	子育ての不安や悩みに対応することやグループの育成等の支援を実施 子育て相談 427件 子育てグループ 10組 延べ 7,104名	10,457	一般財源
保育事業	延べ人員 2,711名 3歳未満児 931名 3歳児 632名 4歳～5歳 1,148名 一時保育利用助成 延88日 民間保育所入所助成 延121月	193,462	国庫支出金 26,571 県支出金 13,285 その他財源 72,999 一般財源 80,607
児童館活動事業	お絵かき・習字教室・英語で遊ぼう・パソコン教室 延べ 119回、参加者数 1,444名	1,168	一般財源

#### 4 衛生費

##### (1) 保健衛生関係

平成20年度より「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、保険者は被保険者及び被扶養者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導を実施することが義務づけられました。

これにより特定健診とがん検診を併せた検診体制の充実を図るとともに、特定保健指導を実施し生活習慣病の予防・改善に努めました。

また、健康づくりを総合的に支援するために平成15年3月に策定した「猪名川町保健計画」がその後6年を経過することから、中間見直しを行い「第二次猪名川町保健計画 新健康いながわ21」を策定いたしました。

住民一人ひとりの健康に対する意識高揚のため「健康福祉まつり」を開催するとともに、住民自らが健康づくりに取り組み健康の輪を地域に広げることを目的に、地域健康づくり支援員養成事業に取り組みました。

休日・夜間におけるこどもの急病に対処するため、本町と伊丹・宝塚・川西各市が共同で取り組んできた「阪神北広域こども急病センター」が平成20年4月から診療を開始したことにより、地域医療機関とあわせて24時間365日切れ目のない医療体制が整いました。

寝たきり予防を目的とした転倒予防教室や、いつまでもおいしく自分の歯で食べられるようにするための地区老人会での指導を引き続き実施するとともに、歯周疾患を早期に発見することにより歯の大切さを再認識してもらう機会として、20歳から80歳までを対象にした節目検診を実施しました。

母子保健については、妊娠期間中の全期にわたる健康診査に係る受診費用の助成を拡大し、妊婦の健康増進を図りました。育児中の母親を対象に将来の生活習慣病予防を目的とした、うす味の料理教室及び中学生と乳幼児とのふれあいを通して命の大切さを学ぶ「思春期ふれあい体験学習」も引き続き実施しました。また、絵本を通して母と子のふれあう機会を増やすことを目的に、乳児検診における「赤ちゃん絵本ふれあい事業」を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等		決算額	財源内訳	
	H19(人)	H20(人)			
がん検診	子宮頸がん検診	910	1,340	52,274	県支出金 2,381 その他財源 6,048 一般財源 43,845
	乳がん検診	701	1,055		
	肺がん検診	3,357	3,395		
	胃がん検診	720	1,950		
	腹部超音波検診	658	2,519		
	大腸がん検診	2,419	3,071		
	肝炎ウイルス検診	443	1,010		
	骨粗しょう症検診	577	1,146		
	前立腺がん検診	598	763		

特定健診・特定 保健指導	特定健診 (40歳～74歳)	—	2,052	27,954	その他財源 15,629 一般財源 12,325
	健康診査 (75歳以上)	—	813		
	特定保健指導	—	44		
母子保健対策	母親教室	175	160	11,078	県支出金 3,450 一般財源 7,628
	3・4カ月児健診	264	227		
	9・10カ月児健診	245	277		
	1歳6カ月児健診	271	297		
	3歳児健診	343	329		
	母親歯科健診	284	336		
	妊婦健康診査	201	295		
感染症対策	ポリオ生ワクチン	487	549	35,049	一般財源
	日本脳炎予防接種	12	4		
	三種混合	1,127	1,087		
	MR	584	1,273		
	三種混合2期	222	264		
	胸部レントゲン	3,581	3,395		
	インフルエンザ予 防接種	2,722	3,033		

## (2) 環境衛生関係

火葬場運営事業については、指定管理者制度を活用する中で、適正な管理運営に努めました。年間の火葬件数は341体（町内149体・町外192体）、斎場利用件数は、ホールと和室が27件、ホールのみが2件、和室のみが4件でした。

ごみ処理事業については、平成21年4月からの国崎クリーンセンター本格稼働に対応すべく、平成20年11月より分別収集方法を7種類15分類から8種類16分類に再編し、再資源化やごみ減量化に努めるとともに、さらにごみ収集体制の強化を図るため、ごみ収集区域を5コースから7コースに再分割し、増加した2コースについては、民間業務委託として収集業務の充実に努めました。

また、ごみ減量化対策の一環として、引き続き業務用生ごみ処理機等の活用に努め、3.1トンの生ごみ堆肥と624.2トンのバーク堆肥を、家庭菜園や畑の肥料として利用される町民に無料配布しました。

また、ダイオキシン対策については、排ガス高度処理施設及び灰固形化施設の稼働にお

いてダイオキシン類排出濃度の常時5ナノグラム以下に保つべく管理運営に努めました。

し尿処理施設については、施設の老朽化に対応すべく、定期修繕工事等を行い維持管理に努めました。

合併浄化槽推進事業については、前年度に引き続き、猪名川町浄化槽管理組合による適正な維持管理及び設置者の負担軽減等を目的として管理費の補助を行いました。

公害対策については、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動、さらには廃棄物不適正処理等に対して、関係法令に基づいた監視等を実施しました。

また、地球温暖化をはじめとした環境保全意識の高揚を図るため、パネル展示等を実施したほか、住宅用太陽光発電システムを設置する住民に対し22件の助成を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

環境衛生関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
畜犬対策事業	狂犬病予防注射及び登録並びに死獣 処理委託料 2,342,310円	2,515	その他財源 1,943 一般財源 572
保健衛生推進事業	保健衛生推進協議会補助金 1,189,000円	1,500	一般財源
環境美化推進事業	推進委託料及びクリーン作戦保険料 不法投棄家電リサイクル手数料 44台 257,985円 不法投棄防止監視カメラ保守点検委 託料 97,530円	1,060	一般財源
合併浄化槽推進事業	浄化槽維持管理補助(組合員129名) 10,393,895円	10,407	一般財源
火葬場管理運営費	火葬場管理運営委託料	16,575	その他財源 10,112 一般財源 6,463

清掃関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
ごみ減量化対策費	再生資源集団回収奨励金 ・実施団体 上期 37団体 下期 36団体 ・回収量 1,563,572kg	12,509	一般財源
	ごみ減量化機器助成金 ・電気式生ごみ処理器 40基 ・コンポスト 6基	1,592	
	業務用生ごみ処理機借上料	947	



ごみ収集・廃棄物等運搬処理委託費	ごみ収集委託費	46,048	その他財源 12,675 一般財源 63,193
	焼却灰等運搬委託費	3,464	
	焼却灰等埋立処分費	4,646	
	資源ごみ運搬処理委託費	21,710	
浸出液処理施設維持管理費	施設保守点検委託費	378	一般財源
	浸出液処理施設修繕費	2,641	
水質・ごみ質・ダイオキシン類等分析測定費	水質検査分析費	793	一般財源
	作業環境・ばい煙・ごみ質分析費	1,678	
	ダイオキシン類測定分析費	924	
広域化事業建設負担金	広域ごみ処理施設建設事業負担金	145,285	一般財源

し尿処理関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
し尿処理施設維持管理費	収集運搬業務委託料	16,228	その他財源 2,264 一般財源 13,964
	運転管理業務委託料	18,554	その他財源 554 一般財源 18,000
	処理場定期修繕工事	8,127	一般財源

環境対策関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
環境対策事業	猪名川本支流・ゴルフ場農薬の採水及び水質分析業務費 733,740円	905	一般財源
環境保全事業	環境学習会の開催 24,000円	311	一般財源
新エネルギー活用型環境保全事業	住宅用太陽光発電システム設置費補助金 22件	2,094	一般財源

5 農林水産業費

「食料・農業・農村基本計画」や「ひょうご農林水産ビジョン2015」の趣旨と本町農業の実態を踏まえつつ、活力ある農業の持続的発展と農村の振興活性化を図るため、町独自の各種施策を積極的に展開しました。

農業委員会では、農地法等法令業務の適正処理に取り組むとともに違反する転用物件等のパトロールや遊休農地の実態調査を実施するとともに、その解消と有効活用を図るため、農業経営基盤強化促進法の普及推進に努めました。

農政部門では、平成16年度からスタートした米政策改革によって、これまでの転作目標面積の配分方式から米の生産目標数量の配分方式に変更され、消費者重視・市場重視の考え方による本来あるべき米づくりの姿の実現に向けた取り組みを各農会を主体として展開した結果、集落内農家の理解と協力によって水稲作付率は100パーセント(作付面積203ヘクタール)に調整することができました。

一方、前年度に引き続きビニールハウス設置補助、そばの栽培支援さらに果樹苗木の購入補助を通じて地域水田農業推進協議会が策定した水田農業ビジョンに掲げる産地づくりの実現に向けた取り組みを関係機関との連携のもとに推進しました。

また、耕作放棄地の増加が進む中山間地域等において、農業生産の維持を図り多面的機能を確保する観点から、急傾斜農地を抱える3集落が締結した集落協定に基づく活動に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。

次に、農地の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、その基盤となる農地・水・環境の保全と資質向上を図り、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進させるため、より生産効率の高い地域ぐるみの共同活動に対し、負担金を交付しました。

次に、道の駅いながわをはじめとする農産物及び加工品の販売について、地産地消をさらに推進し、本町の特色ある加工品開発ができるよう兵庫六甲農業協同組合、兵庫県、道の駅いながわ及び町などの関係機関が協力して研究を進めるとともに、道の駅いながわのそばの館で提供しているそばの需要量の確保に努めました。

また、野生鳥獣の増加による農業被害の低減に向け、金網柵や電気柵の設置事業を推進しました。

土地改良部門では、優良な農地の保全を目的とした生産性の高い都市近郊型農業を推進するため、平成18年度に10.7ヘクタールのほ場整備工事が完了した笹尾地区において、補完工事、換地処分を行いました。

また、地籍調査事業については、新たに南田原地区を対象に土地の所在、地番、地目と所有者を調査するとともに、土地の境界確認、一筆地測量を実施し、上野地区及び北田原地区において地籍図案、地籍簿案による本閲覧を行いました。

林業部門では、松くい虫によって荒廃が進む松林対策として、これまでの松くい虫伐倒駆除と併せて森林が県民全体の貴重な財産であるという認識のもとで都市住民を中心とした森林ボランティアによる松茸山再生事業において、保育作業を行いました。

一方、地域ふるさと森林整備事業として、森林体験や環境学習の推進を図るため、森林

を題材とした体験学習を行う場となる学校里山林（大島小学校）を島地内の島生産森林組合所有地に整備しました。

さらに、町域の8割を占める森林の整備方針を定めた「猪名川町森林整備事業計画」に基づき、町森林組合の指導のもとに森林整備地域活動支援交付金事業や環境対策育林事業に取り組み、事業地の拡大を図りました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 農業委員会費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業委員会総務事業	農業委員会の開催等	4,323	県支出金 1,568 その他財源 161 一般財源 2,594
	委員会 12回 農地法等審議 62件 証明 10件		
農業者年金事業	加入促進、相談、資格審査等 被保険者 17名、受給権者 93名	72	その他財源

(2) 農業総務費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業共済特別会計への繰出金	農業共済事業に対する事務費の繰出	13,159	一般財源

(3) 農業振興費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業生産振興対策事業	水田農業構造改革対策事業 ・水稲作付目標面積 203ha ・水稲作付実施面積 203ha ・確認筆数 7,197筆 ・作付率 100% ・農家戸数 967戸 品評会開催（夏季・秋季） 2回 学童農園設置 13校幼稚園	2,486	県支出金 387 一般財源 2,099
	いきいき農作業体験事業 （実施校：大島小学校）		
	有害鳥獣捕獲委託事業 ・捕獲許可活動日数 11件/延べ23日 ・捕獲獣：鹿 2頭 アライグマ 88頭	761	県支出金 243 一般財源 518
農村地域農政総合推進事業	村づくり推進協議会 1回	482	一般財源

産地形成振興対策事業	営農活性化支援事業 ・施設野菜等農産物生産基盤支援事業 (ビニールハウス設置補助) ・そば栽培支援事業 ・果樹産地システム化支援事業(果樹苗木購入補助)	5,712	一般財源
土地利用調整推進事業	集落営農組織の育成指導 笹尾地区	202	県支出金 100 一般財源 102
中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域等直接支払制度交付金 3集落 31.8ha	6,491	県支出金 4,848 一般財源 1,643
新山村振興特別対策事業	新山村振興特別対策事業補助金 ・総合鳥獣被害防止施設(金網柵) 西畑・柏原 L=12,440m ・総合鳥獣被害防止施設(電気柵) 原・下阿古谷・民田・鎌倉・杉生 L=9,760m	50,577	県支出金 37,599 その他財源 804 一般財源 12,174
農地・水・環境保全向上対策事業	農地・水・環境保全推進協議会負担金 9集落10組織 106.8ha	1,259	県支出金 54 一般財源 1,205
ご飯給食推進事業	ご飯給食 週3回実施	362	県支出金

(4) 畜産業費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
畜産振興対策事業	予防薬剤配布	20	一般財源

(5) 農地費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
基盤整備促進事業	笹尾地区基盤整備促進事業 ・補完工事(湧水排水処理工) ・換地処分	9,179	県支出金 4,423 その他財源 1,765 一般財源 2,991
地籍調査事業	南田原地区地籍調査 0.29km <sup>2</sup> 北田原地区地籍調査 0.32km <sup>2</sup> 笹尾地区地籍調査 0.26km <sup>2</sup>	13,633	県支出金 7,800 一般財源 5,833

(6) 林業費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
森林保全対策事業	森林組合活動育成等	1,184	一般財源
緑化推進事業	県緑化協会負担金等	43	一般財源
	森林組合造林事業苗木	80	一般財源
松くい虫防除事業	松くい虫立木伐倒駆除事業 伐倒量 100m <sup>3</sup>	2,022	県支出金 831 一般財源 1,191

朽原めぐみの森運営事業	森林ボランティア活動支援等	261	一般財源
森林整備事業	森林整備地域活動支援交付金事業 70.0ha	586	県支出金 377 一般財源 209
	環境対策育林事業 間伐実施面積 2.18ha	99	県支出金 23 一般財源 76
地域ふるさと森林整備事業	学校里山林整備（大島小学校） 約 1.85ha	1,536	一般財源

## 6 商工費

商工部門では、町内商工会員小規模事業者の経営改善を図ることを目的とした経営改善普及事業、新産業創出に関する研究、イベント開催による商工業者のPR等、地域経済の活性化に向けた取り組みを行いました。

また、観光情報等をタイムリーに提供できる情報発信基地として、日生中央駅前情報プラザINAGAWAの指定管理者に対して、特産品の展示販売等住民の利便性の向上を図るよう指導、助言に努めました。

農林商工業振興資金貸付金では、3,523,906円の回収を行うとともに、破産確定による2件の回収不能額6,304,659円の権利放棄を行いました。

また、町内中小企業者の育成を目的に行っている中小企業融資あっ旋制度では1件の貸付を行うとともに、中小企業信用保険法によるセーフティネット貸付けにおいては、41件の申請に対してすべて認定を行いました。

観光部門では、町観光協会に対し秋山味覚まつり、新春マス釣大会等のイベント実施に対する支援を行うとともに秋山観光のPR活動など観光客流入の促進に努めました。観光ボランティアガイドについては、更なる充実を目指し第3期生7名の研修を行い、全員を認定し、今後は総勢39名によりガイド活動を行っていくこととなります。昨年1年間では76団体、約1,500名にガイドを利用いただき、心温まる親切な観光案内に努めました。

また、近畿自然歩道管理事業については、ルート草刈り及び3カ所の公衆トイレの適正な維持管理に努めました。

ふるさとの花づくり事業では、そばの種子を配布し、農業振興とともにふるさとの景観形成に努めました。

大野山管理運営については、大野アルプスランド、猪名川天文台（アストロピア）等の

適正な管理に努めるとともに、あじさいまつり、星まつり等のイベントを行い観光客の増加に努めました。

消費者対策として、年々複雑多様化する消費生活トラブルを未然に防ぐため、週3回の消費生活相談員による苦情相談を開設するとともに広報いながわへのQ&A記事の掲載による啓発活動に努め、さらには、近年特に増加している多重債務問題への取り組みを行うなど、消費生活トラブルへの対応の充実を図りました。

(1) 商工業振興費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
商工業振興事業	商工会活動育成等	7,457	一般財源
	労働行政対策費	93	一般財源

(2) 観光費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
観光事業	観光高揚事業 ・ガイドマップ増刷 20,000部 ・彫刻の道パンフレット 5,000部 ・銀山トイレ移設 1基 ・彫刻の道 石彫移設 6体 ・そば種子の配布 1,000kg	8,126	一般財源
	自然歩道管理事業	3,011	県支出金 253 その他財源 1,032 一般財源 1,726
大野アルプスランド運営費	林産観光施設管理及び天文台運営管理委託等 天文台入館者 5,293人 あじさいまつり 約10,000人	8,852	その他財源 699 一般財源 8,153

(3) 消費者対策費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消費者対策事業	消費生活相談 146件	2,117	一般財源

7 土木費

前年度に引き続き、生活環境の整備を図り、地域住民の福祉と生活利便性の向上に資するため、道路・公園等の整備・管理を進めました。

幹線町道の改良事業として、平成17年度から継続的に取り組んできた木間生旭ヶ丘線について、引き続き改良工事を実施し、年度内の竣工と供用を開始しました。

また、道路拡幅事業として、木津東山地区から県道川西篠山線へのアクセス道路である木津東山線の拡幅工事を実施し、県道との交差点付近における通行の安全の確保を図りました。鎌倉地区の鎌倉1号線は、道路幅員が狭小であるため、拡幅工事を実施し、地域の生活道路としての機能の向上に努めました。

日生ニュータウン地区では、引き続きバリアフリー対策工事を実施し、また上阿古谷3号線など町道路線へのガードレールやガードパイプ、防護柵などの交通安全施設の整備工事を実施しました。

そのほか、日生中央駅前のインターロッキング舗装の補修工事を実施し、また猪名川台、伏見台などの町道のリフレッシュ工事や、間明田橋、清水東1号線橋りょうのリフレッシュ工事を実施しました。

都市計画については、都市計画審議会を開催し、猪名川パークタウン「川の道沿い地区の地区整備計画」を決定しました。また、広根ニューハイツの地区計画の策定、都市計画マスタープランの見直し中間報告を行いました。

公園については、つつじが丘住宅地内に新たに2公園4緑地の移管を受け、48の公園と61の緑地の維持管理を行うとともに、白金地区では、住宅地等への倒木防止のための緑地間伐作業を行いました。また遊具の点検を実施し、判定結果により危険度の高いものについては順次撤去を実施しました。

景観対策では、町景観形成協議会を開催し、町内の景観に対する取り組みの報告を行うとともに、景観法が施行されて以降の周辺自治体の景観に対する取り組み等について、情報交換を行いました。

また、違反広告物の一斉除去については、直営で取り組むとともに、屋外広告物の掲出に係る適正誘導に努めました。

新名神対策については、第1段階の用地買収（完成6車線）については関係地元自治会との設計協議が完了したことを受け、各地権者に対する用地取得交渉が展開されました。

また、国・県・西日本高速道路㈱に対して事業促進がなされるよう要望いたしました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 土木総務事務費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
道路台帳修正等業務	道路法第28条に規定する道路台帳(調書及び図面)調製の業務委託	2,205	一般財源

## (2) 道路維持補修費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
道路河川愛護事業	道路河川愛護作業報償金 38自治会 道路河川愛護作業保険料	1,073	その他財源 55,730 一般財源 56,517
道路維持補修等	需用費（作業用消耗品、道路照明灯電気代、燃料、修繕料） 道路補修材料費（道路愛護作業資材、融雪剤等） 備品購入費（作業用機械器具） 重機借上料	18,626	
道路管理委託料	除草、剪定、側溝清掃、除雪等	52,568	
維持修繕工事	万善1号線、笹尾7号線、紫合2号線、伏見台11号線、杉生天王線等	24,983	
屋外公共空間 バリアフリー工事費	伏見台2号線バリアフリー対策工事 舗装工：740㎡、街渠工：144m 点字ブロック、区画線、防護柵	9,998	
交通安全施設整備工事	上阿古谷3号線他 交通安全施設整備工事（ガードレール75m、ガードパイプ95m等）	4,999	

## (3) 道路新設改良費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
道路拡幅工事費	木津東山線 道路拡幅工事：L=54m W=7m 基本測量（用地測量：4筆 他） 用地購入：86.82㎡ 鎌倉1号線 道路拡幅工事：L=135m W=4m	19,517	一般財源
木間生旭ヶ丘線 道路新設改良工事費	全体L=2,413m W=5~7m 繰越分：19-3~19-7工区他 現年分：20-1・20-2工区他 用地購入1,858.77㎡、物件補償4件	200,151	国庫補助金 55,000 一般財源 145,151

## (4) 橋りょう維持費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
橋りょう維持補修費	間明田橋（槻並）L=6.61m W=3m 清水東1号線橋りょう舗装 A=55㎡	3,707	一般財源

## (5) 都市計画総務費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
都市計画審議会	2回開催	244	一般財源



都市景観対策事業	景観形成協議会 1回開催 違反広告物撤去は直営で実施	84	その他財源
新名神対策事業	猪名川地区対策協議会 4回開催 関係地元自治会設計協議 23回開催	699	一般財源
建築営繕費	阪神間7市1町建築営繕連絡協議会に おける営繕・住宅建設工事施工単価表 作成業務委託料等	1,432	一般財源

(6) 公園費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
公園緑地維持管理費	公園・緑地維持管理	111,145	その他財源 759 一般財源 110,386
	都市公園 36箇所 38.4ha		
	その他公園 12箇所 0.7ha		
	合計 48箇所 39.1ha		
	緑地法面 61箇所 98.1ha		

(7) 住宅管理費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
公営住宅維持管理費	町営住宅の修繕等の維持管理業務	4,561	その他財源

## 8 消防費

平成20年度は、消防資機材の安全性を確保するため、空気呼吸器、エンジンカッター、マルチ型ガス検知器等消防・救助活動機器の更新を行うとともに、槻並地内に防火水槽1基を設置し、消防装備等の充実強化に努めました。

救急業務につきましては、救命率の向上を図るため、公共施設に設置されているAED（自動体外式除細動器）の維持管理を行うとともに、AEDの使用を含めた救急講習会を積極的に開催しました。

救急救命士につきましては、救命処置の拡大に伴う対応として、特定の薬剤を投与するための講習、気管内にチューブを挿入し気道を確保するための講習等に2名を派遣し、高度救命処置に対応できる体制の充実強化に努めました。

さらに、救急救命士以外の職員に対しても、消防事務の多様化及び高度化に対応するため各種派遣研修を実施し、職務遂行能力と職員の資質の向上に努めました。

一方、引き続き自主防災組織の活動を充実させるため、各種訓練等の指導を行うほか、各消火栓に設置されている消火栓用ホース格納箱及び資機材を整備し、自主防災組織の育成を支援しました。

平成20年中の火災件数は14件で、前年より1件増加しました。火災種別は、建物火災4件、林野火災、車両火災が各1件、その他火災8件となっています。出火原因については、たき火の不始末、火遊び、ライター、電気ストーブ、放火などでした。救急出動件数は1,114件（1日平均3.1件）で、前年より61件減少しました。また、搬送人員では町民の30.2人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

救助出動件数は10件、各種警戒、誤報等その他出動件数は87件でした。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 常備消防費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
職員研修費	救急隊員及び救急救命士の育成 延76名 その他の派遣研修 延29名	2,352	一般財源
機械・器具管理費	消防用ホース 12本 車両用ジャッキ 1台	8,325	一般財源
救急活動費	施設設置用AED貸貸借 31台 消防車両積載用AED 1式 AEDトレーニングユニット 1式	6,004	一般財源
自主防災組織育成費	消火栓格納箱及び関連資機材一式	3,552	一般財源

(2) 非常備消防費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消防団管理費	消防団退職報償金 28人 消防ポンプ等管理費補助 31台 消防団員福祉共済掛金 477名 消防用ホース 10本	40,220	その他財源 11,430 一般財源 28,790

(3) 消防施設費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消防施設整備事業	防火水槽設置工事(40t 槻並) 1基 川西市・猪名川町消防通信指令システム共同運用経常経費負担金 エンジンカッター 1台 空気呼吸器 一式 マルチ型ガス検知器 一器	17,962	地方債 3,800 一般財源 14,162

## 9 教育費

### (1) 教育総務費

幼児・児童生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばすとともに、地域に開かれた学校づくりをさらに推進するため、4年目となるわくわくスクールプランに基づき、就学前教育から小学校・中学校の連携・一貫教育及び学校・家庭・地域の連携深化を目指す取り組みを推進しました。

国際理解教育及び国際交流事業として、中学生12名・引率教職員2名をバララット市へ派遣し、日本とは異なる文化や習慣の中での生活、英会話による交流など、直接体験によって視野を広げるとともに、友好関係の進展にも努めました。

放課後児童健全育成事業として町内全小学校で開設している留守家庭児童育成室については、利用者のニーズに応えるとともに本町の地理的条件も考慮して実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
わくわくスクールプラン推進事業	就学前教育から中学校教育までの連携・一貫教育の推進及び地域の教育力を生かした特色ある学校づくり	3,145	一般財源
放課後児童健全育成事業	留守家庭児童育成室の開設 7小学校（平成21年3月末現在の在所児童数170名） 前後1時間の特別延長（猪名川小学校、松尾台小学校、白金小学校、つつじが丘小学校）	48,344	県支出金 3,222 その他財源 11,444 一般財源 33,678

### (2) 小学校費・中学校費

各学校及び中学校ブロックごとに、確かな学力の向上と心の教育の充実及びたくましい体力づくりを目指し、児童生徒の実態や地域の特性に応じた活力ある教育活動を推進してきました。

また、自然体験や社会体験などの体験活動の機会を充実させるために、「自然学校」「環境体験」「トライやる・ウィーク」を実施しました。学校だけでは学べない体験活動を通して、自ら学ぶ意欲や、社会の変化に主体的に対応し、こころ豊かにたくましく生きる力の育成を図るとともに、学校と保護者・地域住民との信頼関係を深める有意義な活動となりました。

さらに、英語によるコミュニケーション能力を高め国際性豊かな子どもを育成することを目指し、バララット市から招へいた外国人英語指導助手による中学校での生きた英語教育と、新学習指導要領を視野に入れた小学校での英語活動・国際理解教育の充実に取り組みました。

学校施設整備については、経年劣化等による修繕を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
外国人英語指導助手雇用	各中学校外国語教育 各小学校英語活動・国際理解教育	10,607	一般財源
中学校国際交流推進	町立中学校2年生12名を姉妹都市に派遣	2,512	一般財源
環境体験事業	小学3年生の環境学習	1,338	県支出金 669 一般財源 669
自然学校事業	小学校7校(5年生5泊6日) 中学校3校(1年生2泊3日)	7,278	県支出金 2,989 一般財源 4,289
トライやる・ウィーク事業	中学2年生の体験活動	2,400	県支出金 1,200 一般財源 1,200
学校施設整備事業	小・中学校営繕工事(設計含む)	36,088	一般財源

### (3) 幼稚園費

豊かな心情を育み、主体的に行動する幼児の育成を目指して、教育要領に基づく教育の実践に努めました。

また、2年保育に対応した幼稚園教育の一層の充実を図るため、積極的に実践的教育研究事業に取り組みました。

### (4) 社会教育費

社会経済環境の変化が進み価値観が多様化する中、生涯学習に対する意識の高まりを受け「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶことのできる多種多様な学習機会の充実に努めました。

人権教育については、人権意識の向上及び地域の人権啓発リーダーの育成の支援に努めるとともに、一人ひとりが大切にされる差別のない明るい地域づくりに向けた人権教育・啓発活動を展開しました。また、家庭教育の向上、青少年健全育成の推進、公民館・図書

館などの学習内容の充実、芸術・文化活動の推進など積極的な取り組みを展開しました。

文化財の保護では、多田銀銅山遺跡詳細分布調査（平成20年～22年）を進めました。また、一昨年開館した悠久の館においては、町の重要な産業遺跡である多田銀銅山遺跡資料等の保存と展示を行い、歴史・文化を広く知っていただくため、有効な運営に努めました。

青少年の健全育成事業では、中学校区青少年健全育成推進会議を統一し、2年目として組織活動の活性化に取り組むとともに、「笑顔であいさつ、ふれあい地域」を合言葉に、地域の大人と子どもの関わり大切さを啓発しました。また、地域の安全を守るため「子どもを守る110番のおうち」の定期的な見直し及び新たな設置に加え、「子どもを守る110番のくるま」の普及に努めるなど、学校、家庭、地域の連携をより深める取組を展開するとともに、ほたるの夕べ、ふるさといながわ再発見事業など身近な自然を活用した事業を実施するなど次代を担う青少年の健全育成に努めました。

青少年指導員においては、夜間・町内イベント開催時にパトロールを行い、青少年の非行防止、早期発見に努め、地域及び近隣市と連携し、青少年の非行防止に努めました。

さらに、放課後子ども教室においては、町内3教室それぞれ40回以上の開設を行い、地域の団体運営により、子どもたちの文化活動、ふれあい学習事業等を展開し、子どもたちの安全安心な居場所の確保に努めました。

こころ豊かなまちづくり推進事業では、こころ豊かなまちづくり運動推進専門員を中心に地域の実践活動を推進するリーダー育成に努めました。また、芸術活動の高まりをさらに拡大するために町展を開催し、芸術活動の発表の場とし、生涯にわたり芸術を愛する心を養い、感性を高め、豊かな心の育成を図りました。

図書館では、魅力ある蔵書構成を図りながら全国の図書館、専門機関とも連携し、住民一人ひとりが求める様々な資料・情報を迅速に提供できるように努めました。また日生図書室の開室・移動図書館の運行などを実施するとともに、幼児期から本と出会う機会づくりとして、乳児向け絵本の紹介冊子を配布し、ボランティアと連携して子どもの読書推進に努めました。

公民館では、「生涯学習カレッジ リバグレス猪名川第11期」を開講し「いながわ学」「自然と環境」の2コースと、オープン講座として自由に聴講できる4講座を開催しました。このほか公民館講座として7講座を実施し、公民館活動の場となる貸館事業にも努めました。

文化体育館では、芸術文化活動の発信基地として、幼児から高齢者までの幅広い年代が

質の高い舞台芸術鑑賞やスポーツの技術向上を目的とした自主事業として10事業を実施し、うち2事業は、文化協会の協働と参画のもと合同事業を実施しました。

人権教育事業においては、女性、子ども、高齢者等あらゆる差別の解消に向け、猪名川町人権・同和教育研究協議会への助成を行い、専門部会活動の活性化に取り組むなど、人権についての認識を深め、人権教育の推進に努めました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
社会教育総務事務	施設予約情報システムの運用 社会教育各施設管理運営業務の一括委託	71,104	その他財源 535 一般財源 70,569
こころ豊かなまちづくり推進事業	こころ豊かなまちづくり運動推進専門員設置 町展の開催	2,957	その他財源 180 一般財源 2,777
青少年健全育成事業	青少年指導員夜間パトロール 青少年シンポジウムの開催 TEENS' MUSIC FESTIVALの開催 成人式の開催 子ども会連絡協議会事業 ほたるの夕べ開催 ふるさといながわ再発見事業	7,032	一般財源
放課後子ども教室運営事業	放課後、週末等における地域子育ての助成	1,659	県支出金 784 一般財源 875
文化財総務事務	多田銀銅山遺跡詳細分布調査 指定文化財管理助成 国指定1件・県指定10件 町指定15件・無形文化財3件	7,472	国庫補助金 1,000 県支出金 500 一般財源 5,972
ふるさと館管理運営	郷土の歴史・民俗講座の開催 管理運営	9,407	その他財源 402 一般財源 9,005
多田銀銅山悠久の館管理運営	管理運営	7,038	その他財源 60 一般財源 6,978
公民館管理運営	管理運営 リバグレス猪名川 公民館講座(7講座)	3,598	その他財源
図書館の管理運営及び生涯学習センターの管理	管理運営 図書購入	46,575	その他財源 601 一般財源 45,974
文化体育館の管理運営	自主事業の開催 管理運営	45,506	その他財源 12,046 一般財源 33,460

人権教育の推進	対象地域教育事業	8,251	県支出金	80
	資料収集及び研究調査 猪名川町人権・同和教育研究協議会助成		一般財源	8,171

#### (5) 保健体育費

日常生活における運動量の減少やストレス等による健康不安を解消するため、余暇時間を活用し、生涯にわたって実施できるスポーツの普及に努め、「いつでも、どこでも、だれでも気軽に」親しめるよう地域スポーツのつどい、各種大会や講習会を実施し、継続的に取り組める軽スポーツの普及を推進しました。

スポーツセンター体育館においては、体力、年齢に応じた運動ができるよう専門的なインストラクターを配置し、トレーニングジムを通じて健康・体力づくりを支援するため、各年齢層に応じたスポーツ教室を開催し、誰もが利用しやすい教室として実施しました。

地域スポーツの支援として、身近な場所で気軽にスポーツに親しむ機会の提供を目的に各小学校区に設立されたスポーツクラブ21の活動支援を行いました。また、年度末には全スポーツクラブの参加のもと、スポーツクラブ21交流大会を開催しました。

猪名川町B&G海洋センター及び町営南北プールの管理運営については、指定管理者制度による運営を進めました。また、スポーツセンター等を含む町スポーツ施設において、平成21年度からの指定管理者制度が導入できるよう事務手続きを行いました。

学校給食センターでは、調理機器の老朽化に伴い、ドライ用3層シンク、配送用コンテナを更新・購入するとともに、衛生管理の強化に努めました。

主な事業内容は、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
生涯スポーツの振興事業	スポーツ教室実施 子ども水泳教室実施 ジュニアリーダー養成講座 学校プール施設開放事業 小学校区体育大会支援 スポーツクラブ21推進等	10,486	一般財源
団体補助及び各種負担金	マラソン大会実行委員会補助 町体育協会補助等	3,750	一般財源
千軒グランド・キャンプ場管理運営	管理運営	1,175	一般財源

スポーツセンター 管理運営	管理運営	50,466	その他財源 15,047 一般財源 35,419
猪名川町B&G海 洋センター・南北ブ ール管理運営	管理運営及び備品購入	14,395	一般財源
学校給食センター 管理運営	管理運営及び備品購入 給食実施 幼稚園 89日 小・中学校 192日	80,343	一般財源

## 10 災害復旧費

災害復旧費において支出する災害復旧事業は、発生しませんでした。

## 11 公債費

平成20年度の地方債の償還金は、元金1,158,281千円、利子172,333千円の合計1,330,614千円となっています。

各借入先及び事業別の地方債の現在高等は、次のとおりです。

### 【借入先別】

(単位：千円)

区分	平成19年度 末現在高	平成20年度 発行額	平成20年度 償還元金	平成20年度 末現在高
政府資金	7,018,618	216,060	911,923	6,322,755
財政融資資金	4,983,019	216,060	711,788 (75,469)	4,487,291
簡易保険資金	251,203	0	92,021 (61,090)	159,182
郵便貯金資金	1,784,396	0	108,114	1,676,282
公営企業金融公庫	662,481	0	58,712	603,769
自治協会	42,800	3,800	970	45,630
職員退職手当組合	4,166	0	4,166	0
市中銀行	637,980	65,090	56,290	646,780
農業協同組合	430,490	0	112,440	318,050
縣市町村振興協会	66,620	0	13,780	52,840
合計	8,863,155	284,950	1,158,281 (136,559)	7,989,824

※ ( )内は、繰上償還における元金償還分



## 【事業別】

(単位：千円)

区 分	平成19年度 末現在高	平成20年度 発行額	平成20年度 償還元金	平成20年度 末現在高
1 普通債	8,821,349	284,950	1,152,169 (136,559)	7,954,130
(1) 総務	3,916,186	281,150	303,889	3,893,447
(2) 民生	59,600	0	9,461	50,139
(3) 同和対策	0	0	0	0
(4) 保健衛生	66,084	0	4,339	61,745
(5) 清掃	342,086	0	96,494	245,592
(6) 農林水産	7,465	0	1,489	5,976
(7) 商工	0	0	0	0
(8) 土木	1,358,402	0	219,191	1,139,211
(9) 住宅	82,666	0	48,174 (43,185)	34,492
(10) 住宅資金貸付	1,727	0	254	1,473
(11) 都市計画	589,241	0	179,268	409,973
(12) 消防	120,172	3,800	21,388	102,584
(13) 教育	2,277,720	0	268,222 (93,374)	2,009,498
2 災害復旧債	41,806	0	6,112	35,694
(1) 土木	41,620	0	5,926	35,694
(2) 公共施設	0	0	0	0
(3) その他	186	0	186	0
合 計	8,863,155	284,950	1,158,281 (136,559)	7,989,824

※ ( )内は、繰上償還における元金償還分

## 1 2 諸支出金

基金等の平成20年度中の増減及び平成20年度末現在高は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分			平成19年度 末現在高	平成20年度 中の増	平成20年度 中の減	平成20年度 末現在高
定額運用 基金	土地開 発基金	土 地	0	0	0	0
		現金等	621,900	0	0	621,900
積	財政調整基金		2,229,558	148,242	100,000	2,277,800
	減債基金		1,239,078	12,167	145,630	1,105,615
立 基 金	特定 目的 基金	環境整備基金	1,142,695	10,377	250,000	903,072
		福祉基金	212,197	725	0	212,922
		うるおいとやすら ぎの創造基金	292,858	17,334	10,000	300,192
		奨学基金	27,894	500	0	28,394
合 計			5,766,180	189,345	505,630	5,449,895

※ 奨学基金（特別会計）を含む。